



この時季に 子どもに伝えたいこと



秋は稲をはじめとする作物の実りの季節。全国各地で稲刈りが行われると、田畑の恵みに感謝する収穫祭が行われます。稲の収穫時期は天候や地方により異なる為、全国共通の日にはありません。それゆえ、収穫際の名前もならわしも様々ですが、実りに感謝を込める意味合いは同じです。土を耕し、種をまき、世話をしながら作物を育て、収穫を噛みしめる。古来より行ってきた営みも、今の私たちの生活とは少し離れたところで行われているのが現状です。大人の私たちでさえ、知らないこと、未経験のことはたくさんあると思います。お金を出せばいくらでもどこからでも物が手に入る便利な時代に子どもたちは生きています。ましてここは東京のど真ん中です。だからこそ、遊愛保育園は園庭の木や畑、草花とのふれあいなどを大切にしていきたいと思っています。時間と労力をかけて慈しみ、成長に驚いたり、がっかりしながらも多くの事を感じ、友と共に笑い、遊び、学ぶことを願ってやみません。

今年も遊愛保育園ではお米を育ててきました。夏の猛暑に耐え、いくつもの台風にさらされながらも、その細くのびた茎の穂先に可愛らしい実を付けました。収穫し、脱穀～精米～と子どもたちと一緒に体験したいと思います。暑すぎず、寒すぎず身体を動かすには良い時季です。戸外でたくさん遊ぶと、お腹が減って、食事がおいしく食べられます。満腹になると、良い眠りが訪れますね。良い生活リズムにしやすいのです。そして、気力体力が満ちると、子どもの意欲も増します。今までしていなかったことにチャレンジしたり、ちょっぴり勇気を出すことも意欲がわかないとできません。この秋に良い生活リズムと意欲を手に入れて、心も身体もぐぐんと大きくなって欲しいなと思っています。

郷土



富山県 よもぎののしだこ

かつては米の収穫量が少なく、米は年貢や現金していた為、ご飯米にさえ事欠く農家が多かった。そこで、飯米を節約する為に、屑米を粉にして作られたのが始まりです。屑米をおいしく食べるために、蓬を入れたりする等、さまざまな工夫が凝らされました。



世界



インド サモサ

サモサは元々中東で食べられていた軽食、サンボサが交易商人によりインドに伝えられ、多くのスパイスや技法が加わりサモサが誕生したのだと言われています。具や味付けに決まないので、味付けは様々ですが、じゃが芋か挽肉が入ったものが多いそうです。屋台でも良く売られインドの国民食の1つと言えます



7日頃 立冬 りっとう くらしのこよみ 小雪 しょうせつ 2日頃

「立」には新しい季節になるという意味があり、大きな節目となります。これらを四立(しりゅう)といいます。朝夕冷え込み、日中の陽射しも弱まって来て、冬が近いことを感じさせ、木枯らし1号や初雪の便りも届き始めます。



北国から雪のたよりが届く頃ですが、まだ本格的な冬の訪れではありません。雪といってもさほど多くないことから、小雪といわれたのだそうです。陽射しが弱くなり、紅葉が散る頃。いちようや柑橘類は黄色く色づいていきます。



新米の季節になりました



毎月のキッチンや食材に
触れる機会を作っています。

